



## 大祭①

今月から六大事事について順に学んでいきます。

今回は毎年、芽生えの春である五月と、稔りの秋である十月に御霊地で行われる「大祭」について学びましょう。金剛さまが解脱会を立教されて間もない昭和六年から始まった大祭は、戦時中に中断したこともありましたが、今秋で第一八五回を数えます。

大祭といえば、参道に並んだ屋台や鼓笛隊の華やかな演奏、活気に溢れるお神輿など、さまざまな催しに心躍らせ、皆でお弁当を囲んで和やかな時を過ごす「楽しいお祭り」といったイメージを抱く人も多いのではないのでしょうか。しかし、大祭の一番の目的は別にあります。

私たちは太神様から生命を頂き、大自然の恩恵をはじめとした数多のお陰によって日々生か

されています。慌ただしい毎日の中では忘れてしまいがちですが、樹木を柱に青空を無限の天井として行う大祭は、私たちが大自然の営みによって生かされている存在であることを思い出させてくれます。こうした自分を生かしてくださる全てに対して、心から感謝の祈りを捧げることが大祭の目的なのです。

また、大祭で萬靈魂祭塔に向かつて行う「萬靈大供養」は、よく「萬部供養」と混同されがちですが、全くの別物です。

支部を通じて個人が申し込み、霊界の金剛さまが直接、執行してくださるのが「萬部供養」です。一方、大祭における「萬靈大供養」とは、萬部供養で申し込まれたお靈魂も含めた萬靈魂祭塔に鎮まるすべての万物万靈に対し、会場が一体となって感謝の真心を捧げさせていただくもの

です。

萬靈魂祭塔には、太古以来の人類および鳥獣虫魚樹木草に至るまで、あらゆるお靈魂が祭られています。金剛さまは建立当時、会員に対して「こうしたすべてにご厄介になって生かされているのだから、せめて年に一度や二度は萬靈魂祭塔の前に額ずいて御礼を申し上げるのが我々の礼節であり、務めだ」とおっしゃいました。大祭の折には、真心からのご供養をさせていただきますましよう。

最後に、大祭には私たちがでなく、各家のご先祖さまも参加されます。大祭へ出させていただきますく前には、自宅のご仏壇にご先祖さまも一緒に参りましょう」とお声掛けしましょう。

◎それぞれの心に残る大祭の思い出について話し合ってみよう。